

EGOTERIC

G-0Rb

目次

エンテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ごぞいます。

エンテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

| | |
|---------------|----|
| 目次 | 2 |
| 特長 | 3 |
| 安全にお使いいただくために | 4 |
| お使いになる前に | 7 |
| 接続 | 8 |
| 各部の名称と使い方 | 10 |
| 設定 | 12 |
| 困ったときは | 14 |
| 仕様 | 14 |
| 保証とアフターサービス | 15 |

特 長

最大192kHzのWORD SYNCに対応

デジタル機器のハイサンプリング化に伴い、これまでの44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHzに加えて、176.4kHz/192kHzのワードクロック(同期信号)を出力します。

しかも、出力端子は3系統6個を装備、多数のオーディオ機器のクロックを一元化できます。さらに、各系統で周波数 1倍/2倍/4倍の切替ができるので、たとえば88.2kHzの機器と176.4kHzの機器を一台のG-ORbに接続して同期させることができます。

ルビジウム発振器によりクロックを生成

本機が内蔵するルビジウム発振器(±0.05ppb以内：出荷時、月間変動)は、驚異的な超高精度クロックを創り出します。

外部発振器に対応

外部から10MHzの基準信号を入力して、クロックを生成することもできます。特殊用途に用いられる超高精度セシウム原子発振器などを接続することで、更なるシステムアップが可能です。

ユニバーサルクロック出力を装備

エソテリック独自のフォーマットとして、ユニバーサルプレーヤー用のクロック出力(100kHz)を用意しました(PAL FILM動作の場合は96kHz)。ユニバーサルクロック対応機器と接続すれば、様々な周波数のソースに対応できます。

PALのフィルムソースに対応した周波数

日本国内で通常入手できるDVDはNTSCですが、画質の良さのためにPAL(ヨーロッパのテレビ規格)のDVDディスクも人気があります。

しかし、PALの映像の規格は25フレーム/秒ですが、フィルムソースのディスクは24コマ/秒で出来ています。PALの映像に変換されるときに、1コマ/秒を足すのではなく、そのまま詰め込まれることがあります。そのため、音声もピッチの高い音(約1/3音)になっていることがあります。

このようなディスクを本来の速度で再生するためには、速度を4%遅くして、24コマ/秒で再生する必要があります。

そのために、本機は48kHz/96kHz/192kHzの96%のクロック周波数(46.08kHz/92.16kHz/184.32kHz)を出力できるようにしました。

PAL FILM動作させる場合は、エソテリックのUX-1 Piなど96%のクロック周波数に対応した機器を接続してください。

音質を決定する超剛性筐体

マスタークロックジェネレーターとしては異例の総重量約18kgの強固な筐体が、クロック動作の安定に寄与します。

- スチール製5ミリ厚ベースボードが外部振動を徹底遮断。
- 工具鋼を焼き入れ処理した高硬度の3点支持ピンポイント脚で、明確なメカニカルグランドを形成。

厳選された高品位パーツの採用

高精度なクロック動作に対応したパーツを厳選して採用し、安定した動作を確保するために、重量級の強固なシャーシに固定しました。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

|  警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。 | |
|--|--|
|  電源プラグをコンセントから抜け | 万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なおいや音がするときは。 機器の内部に異物や水などが入ったときは。 この機器を落としたり、キャビネットを破損したときは。 すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店または弊社サービス部門に修理をご依頼ください。 |
|  禁止 | 電源コードを傷つけない。 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない。 コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店または弊社サービス部門に交換をご依頼ください。 |
| | 電源プラグにほこりをためない。 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。 |
| | 交流100ボルト以外の電圧で使用しない。 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。 |
| | 機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない。 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。 |

| | | |
|----------|---|---|
| | 警告 | 以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。 |
| 分解禁止 | この機器のカバーは絶対に外さない。 | カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店または弊社サービス部門にご依頼ください。 |
| 強制 | この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く。 | ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける。 内部に熱がこもり、火災の原因となります。 |

| | | |
|--------|---|--|
| | 注意 | 以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。 |
| 強制 | オーディオ機器などを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。 また、接続は指定のコードを使用する。 | この機器は約18kgあり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。 |
| | この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする。 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。 | |

安全にお使いいただくために



注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。
湿気やほこりの多い場所に置かない。
調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない。
火災・感電やけがの原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近付けない。
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



電源プラグを
コンセントから
抜け

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く。

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く。
感電の原因となることがあります。



愛情点検

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
5年に1度は、販売店または弊社サービス部門に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

電源コード×1
 フェルト×3枚
 取扱説明書×1
 ご愛用者カード×1

使用上の注意

- 本機の上には物を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 安定した場所に設置してください。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。
- STANDBY/ONスイッチがある機器は、STANDBY/ONスイッチがスタンバイのときに待機電力を消費します。

お手入れ

表面が汚れたときは乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。

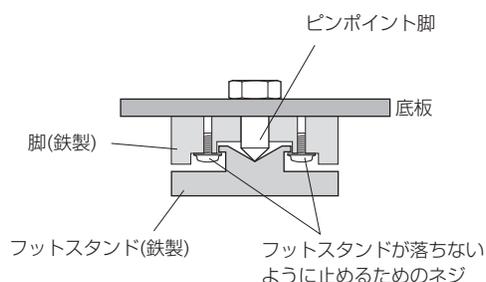
ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

- ⚠️ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

設置について

本機の底板には、工具鋼を焼き入れ処理した高硬度ピンポイント脚と鉄製の脚が強固に取り付けられています。

フットスタンドはぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になり、振動を効果的に分散させます。

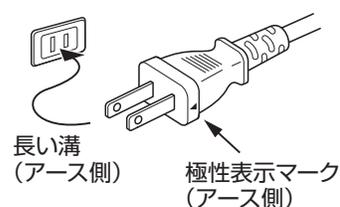


- 本機は大変重いので、設置の際は、けがをしないように十分ご注意ください。
- 床を傷付けたくない場合は、フットスタンドの裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

電源の極性管理について

本機はより良い音質を得るために、電源の極性管理をしています。電源コードのプラグ部分に、極性管理用の極性表示マーク(▲)が付いています。本機では、印の付いている方がアース側です。

一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。極性表示マークが付いている側の差し込み刃をコンセントの長い溝の方に差し込んでください。なお、極性管理されていない電源コンセントに接続するときは、電源プラグを逆に差し込んでみるなどの方法で音質の良い方を選択してください。

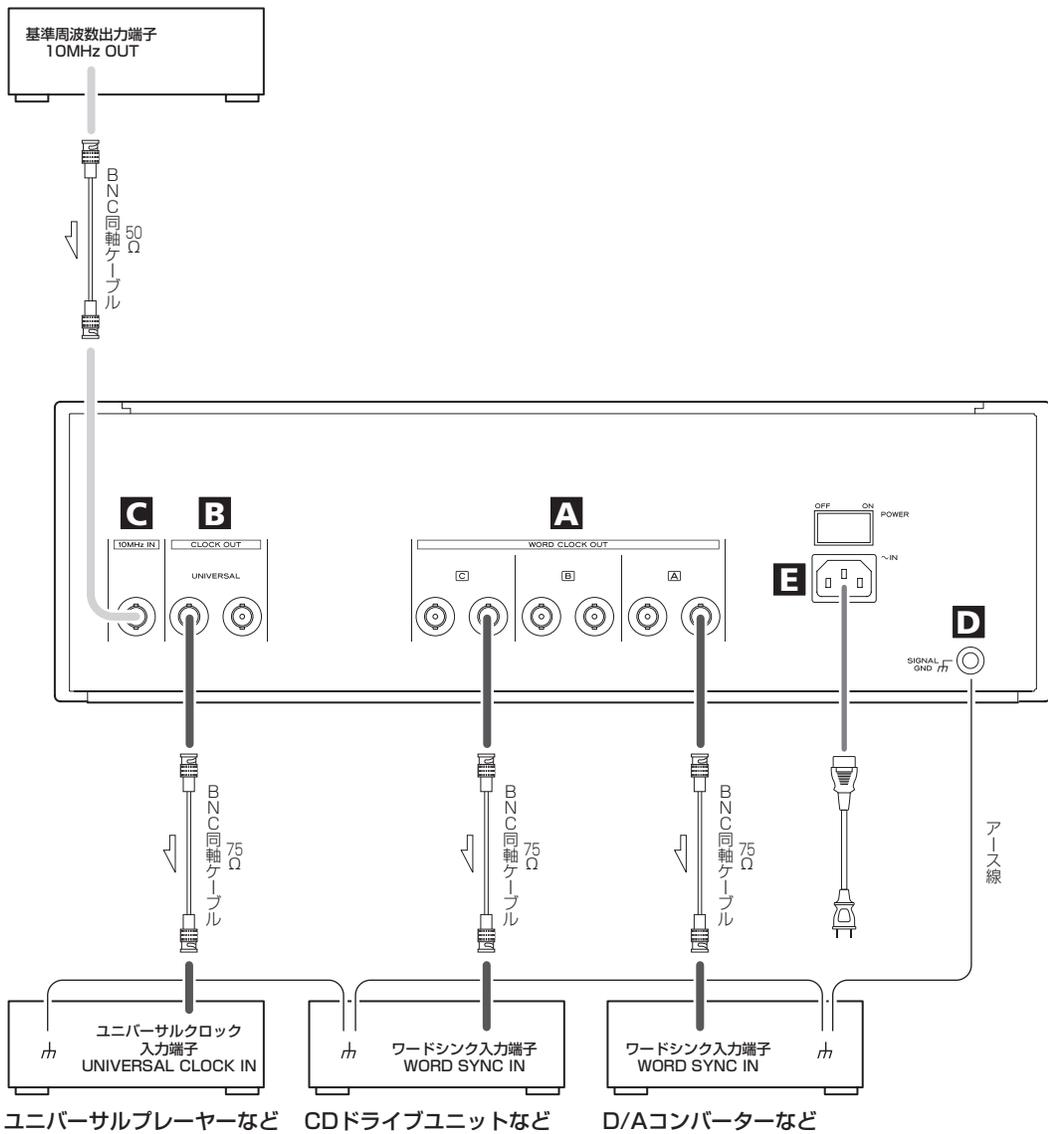


接 続

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ワードシンク以外の接続については、各機器の取扱説明書をお読みください。

基準信号発生器など



A ワードクロック出力端子 [WORD CLOCK OUT]

ワードクロック(同期信号)を出力します。
ワードシンク機能を使うときは、本機のWORD CLOCK OUT端子とデジタル機器(CDドライブユニット、D/Aコンバーターなど)のワードシンク入力端子を、市販のBNC同軸ケーブル(インピーダンス 75Ωのもの)で接続してください。

- A、B、Cの系統毎に、周波数(1倍、2倍または4倍)を設定することができます。
たとえば、88.2kHzの機器をA系統、176.4kHzの機器をB系統に接続して同期させることができます。周波数はフロントパネルのA、B、Cボタンを押して切り換えてください(10ページ)。

B ユニバーサルクロック出力端子 [UNIVERSAL CLOCK OUT]

ユニバーサルクロック(ユニバーサルプレーヤーに対応した、100kHzの同期信号)を出力します。
ユニバーサルクロック対応機器を同期させるときは、本機のUNIVERSAL CLOCK OUT端子とユニバーサルクロック対応機器のワードシンク入力端子を、市販のBNC同軸ケーブル(インピーダンス 75Ωのもの)で接続してください。

- CDとスーパーオーディオCDの周波数は44.1kHzの倍数、DVDの周波数は48kHzの倍数ですが、ユニバーサルクロックならどのディスクにも対応できます。ディスク毎に本機の周波数モードを切り換える必要がないので、便利です。
- 接続する機器がユニバーサルクロック(100kHz)に対応しているかどうか、事前に取扱説明書等で確認ください。
以下の機種は、ユニバーサルクロックに対応していません。
P-0、P-0s、P-70、P-70バージョンアップ、
D-70、D-70バージョンアップ

C 基準発振周波数入力端子 [10MHz IN]

外部の10MHzの基準発振周波数を入力して使用する場合は、基準周波数発振器の出力端子と本機の10MHz IN端子を接続してください。

- 発振器の出力レベルが本機の入力可能範囲外の場合は、使用できません。発振器の出力レベル・精度については、発振器の取扱説明書をご覧ください。

D アース端子[SIGNAL GND]

市販のビニール電線で他の機器とアース接続すると、音質が良くなることがあります。

- 安全アースではありません。

E 電源コード

電源コード接続ソケットに付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

- 本機の電源コード接続ソケットは3ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

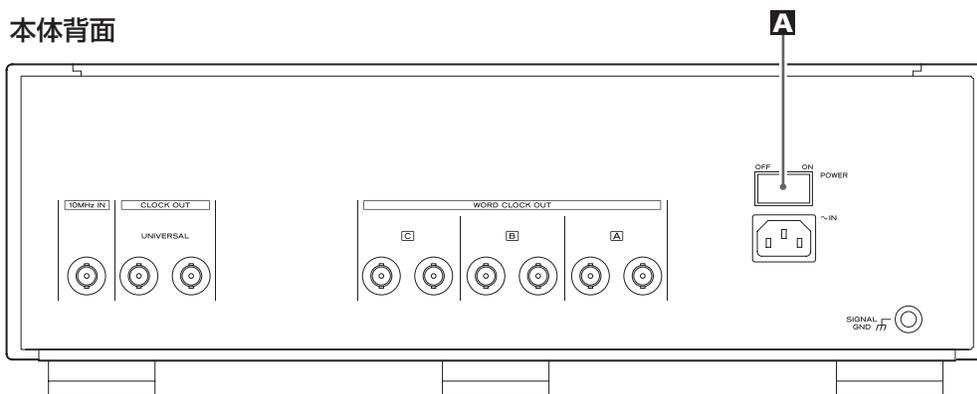
⚠ エンテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

エンテリックでは、リファレンスとして**エンテリック MEXCEL ストレスフリー7N**ケーブルを使用しています。エンテリック **MEXCEL**ケーブルシリーズは、以下のものが発売されています。

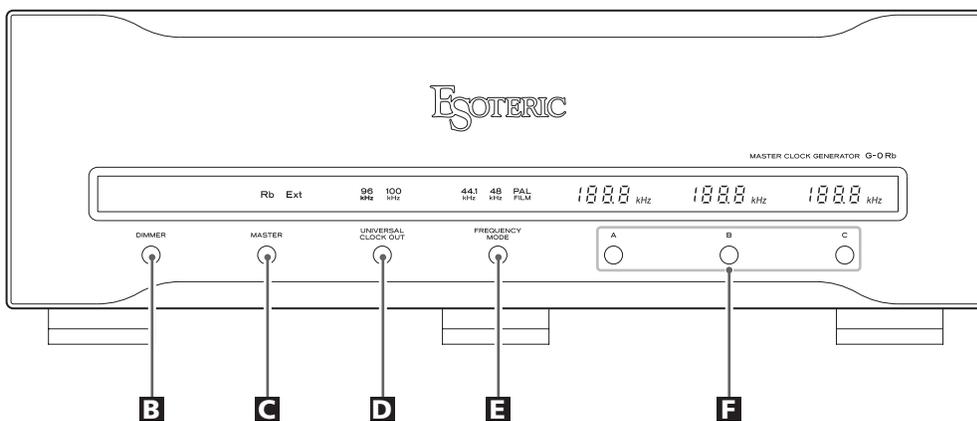
| | |
|--------------|-------------|
| RCAオーディオケーブル | XLRデジタルケーブル |
| XLRオーディオケーブル | BNCデジタルケーブル |
| RCAデジタルケーブル | スピーカーケーブル |

各部の名称と使い方

本体背面



本体前面



A 電源スイッチ [POWER]

電源のオンとオフを切り換えます。

- 電源スイッチをオンにすると、ルビジウム発振器を動作温度までプリヒートさせます。発振周波数が安定するまで数分かかります。

⚠ 長期間使わない場合は、本機の電源スイッチをオフにしてください。

B ディマーボタン [DIMMER]

DIMMERボタンを押すたびに、ディスプレイの明るさが変わります。



- ディマー(強)を選ぶと、MASTERボタンの表示(Rb、Ext)以外は消灯します。
- ディマー中は、電源をオンにしたりボタンを押したときに一時的に通常の明るさになります。出カクロックが安定して(MASTERボタンのインジケーターが点滅から点灯に変わって)から約5秒経つと、設定した明るさになります。
- ディマーの設定は、電源を切っても保持されます。

C マスターボタン [MASTER]

同期信号を作成する基になる、10MHzの基準周波数を作成する発振器を選びます。出カクロックが安定すると、インジケーターが点滅から点灯に変わります。

Rb :

内蔵のルビジウム発振器で基準周波数信号を作成します。

Ext :

10MHz IN端子に接続した外部発振器から入力される基準周波数信号を使用します。

D ユニバーサルクロック出力ボタン [UNIVERSAL CLOCK OUT]

ユニバーサルクロック(ユニバーサルプレーヤー用の、エソテリック独自のフォーマットの同期信号)の出力のオン/オフを切り換えます。

FREQUENCY MODEボタンで44.1kHzまたは48kHzを選んだときには100kHz、PAL FILMを選んだときには96kHzが出力されます。オフのときは、インジケーターが消灯します。

E 周波数モードボタン

[FREQUENCY MODE]

ワードクロックの基本周波数を選びます。

44.1kHz :

CDとスーパーオーディオCDを再生するときに選んでください。

48kHz :

DVDやDATを再生するときに選んでください。

PAL FILM:

PALのDVDディスクを24コマ/秒で再生するときに選んでください。

F 周波数切換ボタン [A、B、C]

A、B、Cの系統毎に、基本周波数の1倍、2倍、4倍およびオフを選択します。

各々の基本周波数に対して、以下の周波数が選べます。オフのときは、インジケーターが消灯します。

44.1kHzのとき :

44.1kHz、88.2kHz、176.4kHz

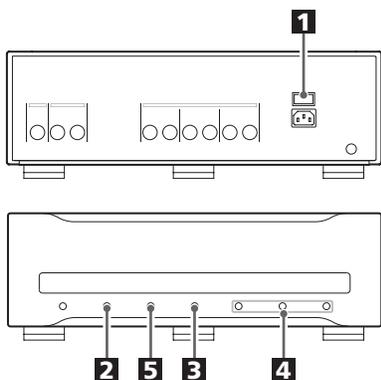
48kHzのとき :

48kHz、96kHz、192kHz

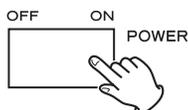
PAL FILMのとき :

48P(46.08kHz)、96P(92.16kHz)、
192P(184.32kHz)

設定



1 本体背面の電源スイッチをオンにする。



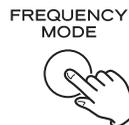
ディスプレイが点灯します。

2 MASTERボタンで、基準周波数を発生させる発振器を選ぶ。



ボタンを押すたびに切り換わります。
内蔵のルビジウム発振器を使う場合は「Rb」、外部発振器を使う場合は「Ext」を選んでください。

3 FREQUENCY MODEボタンを押して周波数モードを選ぶ。



FREQUENCY MODEボタンを押すたびにモードが切り換わります。

44.1kHz :

CDとスーパーオーディオCDを再生するときに選んでください。

48kHz :

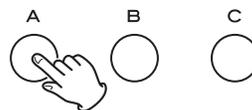
DVDやDATを再生するときに選んでください。

PAL FILM:

PALのDVDディスクを24コマ/秒で再生するときに選んでください。

- UNIVERSAL CLOCK OUT端子しか使わない場合は、44.1kHzと48kHzのどちらを選んでも構いません。
- PAL FILMを選ぶときは、接続した機器がPAL FILMの周波数で動作可能かどうか、事前に確認してください。D-70バージョンアップは、PAL FILM動作に対応していません。

4 WORD CLOCK OUT端子に接続した機器がある場合は、A、B、Cのボタンで、接続した機器が受けられる周波数を選ぶ。



- 接続した機器が受けられるもっとも高い周波数に設定することを推奨します。

ただし、以下の機器と接続した場合は、44.1kHzまたは88.2kHzに設定してください。

P-0/P-0s : 44.1kHz

P-70 : 88.2kHz

5 UNIVERSAL CLOCK OUT端子に接続した機器がある場合は、UNIVERSAL CLOCK OUTボタンで、出力をオンにする。



周波数モードが44.1kHzまたは48kHzの時は100kHz、PAL FILMの時は96kHzが点灯します。

6 接続した機器のワードシンクをオン(またはスレーブ動作)にする。

ワードシンクの設定方法については、接続した機器の取扱説明書をお読みください。

エンテリックのワードシンク可能な機器の設定例：

- D-01は、WORDボタンで「Rb IN」を選びます。
- D-70バージョンアップは、フロントパネルにあるCLOCK MODEスイッチを「WORD+RAM」にし、リモコンでワードクロックの設定を「IN M1」にします。
- P-0/P-0sはリモコンのSYNCボタンでWORD SYNCをオンにします。
- P-0sバージョンアップは背面にあるWORD SYNCスイッチをONにします。
- P-01は、WORDボタンで「Rb IN」を選びます。
- P-70/P-70バージョンアップは、フロントパネルにあるWORD SYNCスイッチをONにし、背面のPLLフィルタースイッチを「MODE 2」にします。
- X-01は、CLOCK MODEボタンで「Word M1 ON」を選びます。

- 本機を使わないときは、本体背面の電源スイッチをオフにしてください。
- 設定した内容は、電源を切っても保持されます。
- 一度設定すれば、次回からは電源スイッチをオンにするだけでお使いになれます。
再生するディスクまたは機器によっては、周波数モードをFREQUENCY MODEボタンを使って切り換えてください。
- CDとスーパーオーディオCDの周波数は44.1kHzの倍数、DVDの周波数は48kHzの倍数ですが、ユニバーサルクロックならどのディスクにも対応できます。ディスク毎に本機の周波数モードを切り換える必要がないので、便利です。(9ページ)

当社以外の機器に接続する場合は、その機器の受けられる周波数についてその機器の取扱説明書をよくお読みください。

機器によっては、ワードクロックの周波数をオーディオ信号のサンプリング周波数と同じにする必要があります。

また、Dual AES接続の場合はオーディオ信号のサンプリング周波数の半分にする必要のあるものもあります。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

電源が入らない。

- ➔ 電源コードの差し込みを確認してください。
- ➔ リアパネルの電源スイッチをオンにしてください。

同期できない。

- ➔ 同期できないワードクロックが出力されていないか確認してください。各機器の入力可能ワードクロック周波数の中から選んで入力してください。同期できるワードクロックは、各機器の接続方法や設定によっても変わる場合があるので、各機器の取扱説明書をよくお読みください。
- ➔ PAL FILM動作させる時は、接続した機器がPAL FILMの周波数(標準の-4%の周波数)で動作可能かどうか確認してください。
- ➔ 本機背面の出力端子は、各機種の入力可能同期信号に合ったものに接続されているか確認してください。

A、B、Cボタンを押しても希望の周波数を選べない。

- ➔ FREQUENCY MODEボタンを使って基本周波数を選んでから、A、B、Cボタンを押してください。

DVDの再生で音の高さがおかしい。

- ➔ NTSCのディスクやフィルムソース以外のPALのディスクをPAL FILM動作させないでください。PALのフィルムソースのディスクでも音声調整済みのものはPAL FILM動作させないでください。

仕様

クロック出力

44.1k系列 44.1kHz、88.2kHz、176.4kHz
48k系列 48kHz、96kHz、192kHz
PAL FILM系列
46.08kHz、92.16kHz、184.32kHz
UNIVERSAL CLOCK系列 100kHz、96kHz

端子 BNC不平衡
出力レベル 矩形波 (TTLレベル/75Ω)

ルビジウム発振器精度 ±0.05ppb以内
(ppb=10⁻⁹)

出力クロック安定時間

電源オンからルビジウム発振器安定まで 約10分
MASTER/FREQUENCY MODE切換時出力安定まで
10秒以内

基準周波数入力

入力周波数 10MHz (±10ppm以内)
端子 BNC不平衡
入力レベル サイン波 : 0.5~1.0Vrms/50Ω
矩形波 : 1.5~2.5Vpp/50Ω

一般

電源 AC100V 50-60Hz
消費電力 81W(最大)、31W(安定時)
寸法(W×H×D) 442×153×351(mm)
質量 18kg
許容動作温度 +5℃~+35℃

付属品

電源コード×1
フェルト×3
ご愛用者カード×1
取扱説明書 (バインダー含む) ×1

仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご購入者カードと引き換えに発行いたします。添付のご愛用者カードに必要事項を御記入の上、速やかにお送りください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はご購入日から一年です。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
- ご購入、ご購入者カード等でお買い上げの販売店に修理をご依頼にならない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - 接続している他の機器に起因する故障および損傷
 - 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
 - メンテナンス
 - 保証書の提示がない場合
 - 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

14ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サービス部門にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：マスタークロックジェネレーター G-ORb

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

株式会社ティアック エソテリック カンパニー

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

<http://www.teac.co.jp/av>

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～12:00/13:00～17:00です。

AVお客様相談室



0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

電話：0422-52-5091 / FAX：0422-52-5194

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター



0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。